第３０回長野県高等学校写真展　実施要項

**主　催：長野県高等学校文化連盟、長野県高等学校文化連盟写真専門部、長野県教育委員会**

**後　援：長野県写真連盟、信濃毎日新聞社**

**１．期　日**

**令和５年12月８日（金）～12月10日（日）**

１２月　８日(金) 展示準備受付 　　9：40～10：20（受付後展示作業に入ります）

展示作業　　　　 　 　　 ～10：40

展示　　　　　　　 10：40～17：00

審査投票 　　 　　 10：40～12：00（生徒投票（生徒の選んだ１点賞）は13：30まで）

生徒昼食休憩　　　 12：00～13：30

顧問会議　　　　　 12：30～13：30

開会式・講 評 会　 13：30～15：45

１２月　９日(土) 終日展示　　　　　　9：00～17：00

１２月１０日(日) 展示　　　　　　　　9：00～15：00

結果発表・表彰　　 14：30～15：00

片 付 け 　　　　　15：00～16：00（出品校は1名以上参加のこと）

**２．会　場**

安曇野市豊科近代美術館（展示、表彰式）

安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」（講評会）

**３．応募作品の規定**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 種 別 | 用紙サイズ | 応募資格 | 備　　　考 |
| **第１部** | **単写真** | **Ａ４又は**  **（210×297㍉）**  **四つ切**  **（254×305㍉）** | **１､２年生**  **(定時制３年生)** | **フチを除いたプリント部位の長辺が240mm～305mmで**  **あること　※プリント部位に合わせての切断不可** |
| **組写真** | **指定用紙（A4、四つ切）にレイアウトするか同サイズ**  **台紙に貼りつける** |
| **第２部** | **単写真** | **第１部に準ずる** | **３年生**  **(定時制４年生)** | **第１部に準ずる** |
| **組写真** |

①地区展、校内展を除き**未発表作品に限る**。他のコンテストに応募し入選したもの、またはその類似作品は応募できない。地区展入賞作品は、ノミネート作品として扱う。

②モノクロ－ム･カラー作品とも、単写真または組写真（枚数および構成は自由）とする。

組写真は共同制作を認めない。

③デジタルの単写真は原則1000万画素以上とする。**（スマートフォンでの作品は好ましくない）**

④デジタル加工された写真も可とするが、全て応募者本人の写真であること。

⑤**プリントサイズ等において､規定外の作品は審査対象外とする。**

**４．応募方法**

①**［第１期応募］　９月２０日(水)必着、　９月２３日(土)審査（１期応募分からの展示を決定）**

（１）**応募点数は１人２点**とする。総文祭出品者は更に２点出品できる。

（２）応募作品の中から１５０点前後を展示作品として選考する。

また、展示作品のうち２０点前後を「入賞候補作品」としてノミネートする。

（３）審査結果は９月２３日(土)、専門部ホームページ上にて各校の応募一覧表番号で発表する。

（４）展示決定作品は事務局で保管する。

②**［第２期応募］１０月２５日(水)必着、１０月２８日(土)審査（２期応募分からの展示を決定）**

（１）**応募点数は１人２点**とする。

１期応募の作品を再度応募してもよいが、同一プリントではなく、レタッチやトリミングなど修正を加えて応募すること。

（２）**地区展のからのノミネート作品も併せて送付する。**

（３）応募作品の中から８０点前後を展示作品として選考する。

また、展示作品のうち１５点前後を「入賞候補作品」としてノミネートする。

（４）審査結果は１０月２８日(土)、専門部ホームページ上にて各校の応募一覧表番号で発表する。

③**応募料無料**。

※展示決定･ノミネートとなった作品については下記「７．出品料」に従い、期日までに納付する。

④パネル､台紙不要。写真用紙の裏に応募票をセロテープでとめる。応募票と作品の上下を必ず揃える。

　　⑤「実施要項」「応募票」「応募一覧表」は、各顧問宛てに事務局から配信されたメール、または写真専門部ホームページからダウンロードして使用する。ダウンロードしたExcel形式の応募一覧表に必要事項を記入し、事務局にメールで送信する。

　　⑥作品は学校ごと、プリントした応募一覧表を付けて事務局に送る。郵送・持込のいずれも可。

　　⑦応募作品送付先

〒386-8585

上田市中之条626　上田千曲高等学校内

高文連写真専門部事務局 関　磨子

TEL:0268-22-7070　FAX 0268-23-5370

メール：k-seki[@m.nagano-c.ed.jp](mailto:michikyou_tanaka@yahoo.co.jp)

⑧応募作品は高写展会場で返却するが、早期に郵送返却希望の場合は、応募時と同額の切手を貼った返信用封筒（宛先記入）を同封し、その旨をメール連絡すること。

**５．審査員**

３名(信濃毎日新聞社、長野県写真連盟、東京工芸大学芸術学部写真学科より各１名)

**６．審査を通過し展示決定･ノミネートとなった作品の表装(額装)と提出**

①１､２期の展示決定･ノミネート作品の合計は、原則１人３作品とする。組写真、モノクロがある場合は４点も可。

②指定の｢ビューティーパネル｣半切サイズ､シルバーを使用　※楽天市場で､税込\1,450(送料別)

③パネルに(黒または白の台紙)を入れ、スチレンボードから剥がれ落ちないよう両面テープで止める。作品は台紙から剥がれ落ちないように両面テープで四隅と真ん中とを止める。パネル表面には、透明シートのカバーやマット紙を着けず、作品が直に露出した状態にする。パネル裏面には、応募票のコピーを貼付する。

④出品一覧表は、**１１月１３日(月)**までに別途Excelデータを事務局までメール送信する。

⑤作品は**「1.期日」**に記載の展示作業時間内に各校が作品を持ち寄り、指定された場所に展示する。

※大展示場内の受付で確認。準備受付時間を過ぎたものは展示及び審査の対象外とする。

**７．出品料**

地区展からのノミネートも含め、展示決定･ノミネート作品すべてに対し､出品料１点につき８００円を学校ごとに一括し、下記郵便振替口座に**１１月１３日(月)**までに振り込む。生徒個人が振り込む場合でも、必ず学校名を記載すること。

**郵便振替口座番号　 ００５８０＝９＝５９９２６　長野高文連写真部会事務局**

**８．作品データの提出**

第２期の審査後、展示決定およびノミネートとなった作品のデータについては、以下のURLにアクセスし、学校ごとのフォルダーにノミネートと展示決定に分けて**１１月１３日(月)**までにアップする。それぞれの作品データに、データ名として【学校名・学年(年次)・氏名・「タイトル」】をつける。例【高文高校・１年・高文太郎・「海」】

**（詳細については、２期審査後に改めて通知）**

<https://iidajoshi-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/photo-nagano_i-joshi_com/En9CunPTq8lAqW_29lRFNbUB2wv42_Mo_B5hd7DzeGiuIw?e=pxr5Ek>

**９．投票および審査**

①顧問は１２月　８日(金)１２：００までに所定の投票用紙で投票する。

②第１･２部について、別途「審査要項」に基づき、顧問投票のポイントに審査員３名のポイント

を加算した合計ポイントで入賞者を決定する。

**10．表　彰**

① 第１部･･････最優秀賞１作品、優秀賞２作品、優良賞３作品、奨励賞２～３作品。

1. 第２部･･････最優秀賞１作品、優秀賞２作品。優良賞３作品
2. 全ての作品の中から「生徒の選んだ１点賞」
3. 各部、上位３作品の入賞者には卜ロフイーまたは楯を贈る。

⑤第１部上位３位までの者は、「第４８回全国高校総合文化祭（岐阜県）」の出品者として県高文連に推薦する。（「全国総文祭参加要項」により４位以下の場合もある）

⑥推薦された生徒が全国総文祭に不参加(出品辞退)の場合、ポイント数を考慮して、再度推薦者を決定する。

**11．その他**

①入賞者は表彰式に出席すること。欠席の場合は代理を出すこと。

②出品した学校は、１２月１０日(日)の片付け・搬出作業に参加すること。

やむを得ず欠席し事務局に返却を委託する場合には、別途配達料金(着払い)が必要となる。

③１２月８日(金)の昼食は各自で摂る。展示会場(美術館)、開会式会場での飲食は不可。

「きぼう」ホール前のフリースペース、安曇野市役所1階くつろぎコーナー、市役所４階ラウンジ等が利用可能

④入賞作品の著作権は本人に帰属するが、ポスター等への使用権は主催者が有するものとする。

長野県高等学校写真展審査要項および全国総合文化祭参加要項

[審査投票の方法]

１．入賞作品の選定は、全ノミネート作品への投票により行なう。

２．ノミネート作品とは以下の①～③が対象作品となる。

①各地区展からのノミネート作品

②高写展１､２期の各ノミネート作品

３．投票締切時刻…【１２月８日(金)１２：００】（生徒の選んだ１点賞は13：30までに投票）

① 第１部は自校の生徒の作品には投票できない。（自校への投票は無効）

第２部は、１作品のみ自校に投票できる。

②「生徒が選んだ１点賞」

参加生徒の記名投票とし、１～２部の全作品の中から３作品を選んで投票する。

**自校の作品は１作品のみ投票できるが、自分の作品には投票できない。**

４．顧問による投票は次のポイントを与え、審査員のポイントも加算し、合計ポイントで順位を決定する。

最優秀…１作品(３ポイント)、優秀…１作品(２ポイント)、優良…１作品(１ポイント)

[投票の観点]

投票は、以下の「投票の観点」①～⑤により、全紙引伸しに耐えうる、全国展にふさわしい作品を選出する

1. 撮影のピントは甘くないか、手ブレはないか。４倍のサイズに大きく引き伸ばしても大丈夫か。
2. プリントの仕上がりはいいか。（ピント、濃度、コントラスト、ほこりやキズ、全体の調子）
3. 作品の「ねらい」(何を撮影したかったのか)は伝わるか。→ 題名参考
4. 作品の「ねらい」が的確に表現されているか。→ 構図・フレ－ミング・トリミング
5. 総合的に、見る人に感動を与える作品か。　　→ 感性のよさ・シャッタ－チャンスのよさ

[入賞者の決定]

１．投票用紙の開票は、監事１名以上の立ち会いの下で、県役員が選考委員として行なう。監事が出席できないときは、監事の依頼した代理人が立ち会う。

２．得点が同点の場合は次の観点により選考する。

① 単・組写真、カラー・モノクロ、引き伸ばし時の画質、加工等、全国総文祭出品作品としての出来具合も考慮する。

② 同点作品の作者が２点以上ノミネートされている場合は、他の作品とのバランスも考慮に入れる。

３．上記①②でも決定できない時は、「投票の観点」により選考委員の協議によって決する。

[全国高校総合文化祭推薦作品の選考]

１．卒業学年作品以外の上位３作品を、次年度全国高等学校総合文化祭写真部門への推薦候補作品とする。

２．全国総文祭への出品は１人１点とする。

３．１校からの最大出品点数は原則３点までとする。

４．県高写展より３点、高写連フォトコンテストより２点を選出する。

５．高校写真展で全国総合文化祭出場の推薦を受けた者が、フォトコンテストで入賞（「推薦」を受賞）した場合、フォトコンテストからの全国総合文化祭出場の推薦は、重複受賞者を除き、「特選」「入選」の中から繰り上げて２名とする。

６．同一、または類似作品が他のコンテストで入賞していることが発覚した場合は、全国大会への出品を取り消すこともある。

[全国高校総合文化祭に関する手続き等]

１．入賞者の「全国総文祭」への推薦は、別途事務局の指定した期日までに｢参加申込書｣の提出がなされた場合に決定する。

２．全国総文祭への参加枠は基本的には出品者数であるが、個人負担または学校負担による参加枠を超えた参加を妨げるものではない。なお、県高文連への参加計画書・実施報告書等には枠外参加者は記入しない。

※県高文連の財政が非常に厳しい状況にあるため、マネージャー(同行者)の補助金は出ない。

ただし、自己負担での参加、または各学校の生徒会費の補助を受けての参加は可能である。

[その他]

この要項の不備が見つかった場合は、いずれの時点でも事務局判断により変更できるものとし、事務局は参加校

に変更箇所とその理由を周知しなければならない。